

大学名

徳島大学(徳島大学病院)

第56号テーマ
「地域医療」

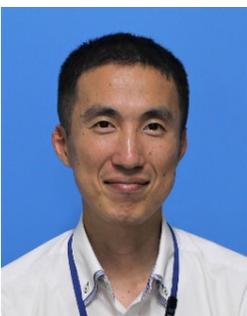
表題

南海トラフ巨大地震への対策:総合メディカルゾーンとしての取り組み

取材対応者(予定) 特色ある取組



ER・災害医療診療部
大藤特任教授



総務課(災害担当)
川辺さん

徳島大学病院は、隣接する県立中央病院と地域医療発展の拠点となる“総合メディカルゾーン”を形成
同一敷地内に連絡橋で連結された2つの災害拠点病院の特色を生かした災害対策:

- ①トリアージエリアの集約化と役割分担:赤・黄患者を県立中央病院救命センターで初期対応
- ②救命センターで対応できない重症患者を連絡橋を通じて徳島大学病院へ搬送し高度医療を提供



参考URL

徳島大学病院ホームページ
<https://www.tokushima-hosp.jp/>

上記取組による成果・評価 など

総合メディカルゾーン合同災害訓練(R1.10.5)を実施:指揮命令系統の構築、円滑な患者受け入れと転院搬送、両病院の医療従事者間の連携について、徳島県より高い評価を受けている

今後、徳島県消防局および地域住民に、総合メディカルゾーン災害対策を広く周知し、災害医療活動の発展に寄与したい